



このQRコードは
メーカー管理用です。

washLÉT.

◆"ウォシュレット"はTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

工事店様へ

●ウォシュレット本体とリモコンは「組み合わせ設定」されています。
同梱以外のものを取り付けしないでください。

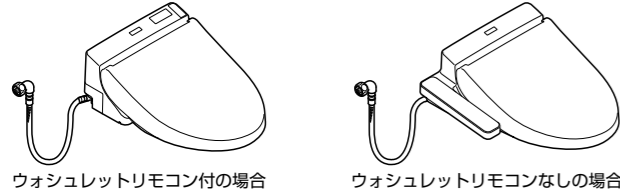
例)バーコードNo.12345678の場合

リモコン裏面 ウォシュレット本体背面

ウォシュレット本体とリモコンのバーコードNo.(8桁)で、組み合わせを確認してください。

組み合わせ設定を行う場合
「組み合わせ設定」の設定方法が変更になりました。
必ず裏面の **組み合わせ設定** を確認してください。

ウォシュレット本体



いずれの製品も取付方法は同じです。
この施工説明書は、ウォシュレットリモコン付の場合のイラストで説明しています。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。
緑表示の例 〇してはいけない「禁止」の内容です。 ！必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 浴室など湿気が多い場所には設置しない(火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
- 指定する電源(交流100V)以外では使用しない(火災や発熱の原因になります。)
- 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない(火災や感電の原因になります。)
- 水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない(故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
- コンセントは給水位置の真下に設置しない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 車輻・船舶など、移動体への設置はしない(火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)

2Pプラグの場合) ●アース(D種接地)を確実に取り付ける(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

3Pプラグの場合) ●必ず接地アース極付コンセントに差し込む(変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)

注意 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない(水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたまま給水フィルター、給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出します。)
- 施工は施工説明書に従って確実に行う(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
- 給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める(確実に締めないと水漏れの原因になります。)
- ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む(「カチッ」と音がするまで押し込んだあと、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。)(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しいただき。

リモコン部品 ※リモコンはいずれかが同梱されています。(ウォシュレットリモコン付のみ)

ハンガー
ハンガー
リモコン(乾電池式)
リモコン(発電式)

乾電池(単3形×2個)
ねじ①(3本)
ねじ②(4本)
アンカープラグ(4本)
ねじ②(2本)
固定部品(1個)

分岐金具
パッキン2枚
(施工タイプにより使用する枚数が異なります。)

印刷物

ベースプレート式 ※分解しないでください。
ボルト
固定板
フック
ゴムブッシュ

埋込AC100V リモコン部品 (埋込AC100V リモコン付のみ)
(施工説明書付)

別包装部品

ウォシュレット専用便器洗浄ユニット (リモコン便器洗浄付のみ)

取り付け前のご注意

フラッシュバルブへ接続する場合

- ①分岐口のあるFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH343R)が必要になります。
- ②分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH484(FVの給排水芯(A)120mm用))が必要になります。
- ③分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH347-1S(節水形)または品番:TH502-1S(普通形))が必要になります。

専用止水栓を設ける場合

別売品の専用止水栓(品番:TH484V3)が必要になります。

施工方法(メーシ)	「フラッシュバルブ」へ接続する場合				「専用止水栓」を設ける場合	「ロータンク」へ接続する場合
	分岐口がある場合	分岐口がない場合				
TH343R	TH484	TH347-1S	TH502-1S	TH484 V3		
必要部材(別売品)	普通形・節水形 TH484	①普通形 TH502-1S	②節水形 TH347-1S	TH484 V3	同梱の分岐金具のみで施工できます。	
希望小売価格	¥1,650 (税抜)	¥3,000 (税抜)	¥6,750 (税抜)	¥7,650 (税抜)	¥2,900 (税抜)	

※仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取付方法

●機種によっては製品の形状などが異なります。
●分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

1 止水栓を閉める

フラッシュバルブの場合
止水栓
止水栓カバー(節水形のみ)
ドライバー

2 分岐金具の接続

注意 タンクの真上から見たボールタップ
●止水不良の原因になります。

接続部にテーパリングを使用していない場合
スリップワッシャー
ゴムパッキン

給水管とウォシュレット用給水ホースの接続口を間違えない
●水漏れの原因になります。

給水管が長い場合はパイプカッターで切断後、切粉を取り除いてください。

ワンピース便器へ接続する場合
分岐金具
止水栓
パッキン
ふさぎナット

給水ホースがタンクの側から出ているタイプの場合
止水栓
分岐金具
袋ナット
パッキン

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合
●別売品の分岐金具(品番:TCA158)が必要
分岐金具(別売品)
止水栓
スピンドル
袋ナット
ドライバー

取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

- 1.製品への通電および通水は取付作業をすべて終了してから行ってください。
 - 2.便器に取り付ける前に、通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒーターが入るため、故障の原因となります。
 - 3.給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
 - 4.電源は交流100V(50/60Hz)です。右表の、電力に適した配線をしているか確認してください。
 - 5.電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 - 6.給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
 - 7.給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
 - 8.同梱以外の分岐金具、パッキンを使わないでください。
 - 9.リモコン便器洗浄付の場合…必ずウォシュレット専用便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレット本体をセットしてください。※施工のしやすさ、キズ防止のため。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品内には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
TEL 0120-8282-55 FAX 0120-8272-99
※仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

給水ホースの長さ不足の場合

給水ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
1180	TCA253	¥2,800(税抜)
1480	TCA254	¥3,100(税抜)
1980	TCA255	¥3,600(税抜)

給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。

右給水の隣付タンクへ接続する場合

給水ホースの長さが足りません。
別売品の中継金具(品番:TCA58R、希望小売価格:¥6,000(税抜))をご購入ください。

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

別売品の分岐金具(品番:TCA158、希望小売価格:¥2,700(税抜))をご購入ください。

給水コンセントへ接続する場合

別売品のアダプタ(品番:TH778R、希望小売価格:¥990(税抜))をご購入ください。

フラッシュバルブへ接続する場合

分岐口のあるフラッシュバルブへ接続する場合

●別売品の部材(品番:TH343R)が必要

六角レンチ(6mm)で、ふさぎふたをはずしてください。

フラッシュバルブ本体
ふさぎふた
六角レンチ(6mm)

分岐金具
ナット
座金
パッキン
リング
アダプタ

●分岐口に取り付けの際は、必ず強く確実に締め付けてください。分岐金具を取り付けるときに、ゆるむおそれがあります。

分岐口がないフラッシュバルブへ接続する場合

●別売品の部材(品番:TH484)が必要

給排水芯 120mm の場合

シールテープを巻く
アダプタ
パッキン
座金
プラグ

この突起を利用してねじ込む

接続管をはずす

フラッシュバルブ本体

止水栓
止水栓カバー
パッキン
分岐金具
座金
プラグ

旧型のバキュームブレーカー付の場合は、手前に向けて取り付ける

分岐口があるフラッシュバルブ止水栓へ交換する場合

●別売品の部材(品番:TH347-1SまたはTH502-1S)が必要

●止水栓ごと交換することで、施工が非常に簡単にできます。

分岐金具
パッキン
座金
ナット

TH347-1S(別売品)

●止水栓交換後は、分岐口のあるフラッシュバルブへ接続する場合の項にそって、同梱の分岐金具を取り付けてください。

専用止水栓から給水する場合

●別売品の部材(品番:TH484V3)が必要

ナット
パッキン
分岐金具
専用止水栓

旧型のバキュームブレーカー付の場合は、手前に向けて取り付ける

シールテープ

TH484V3(別売品)

取水口給水管
300
150
便器中心線
(単位:mm)

ウォシュレット本体の取り付け

●ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。

①ベースプレートのボルト取付位置を調整する

便器のサイズ	ボルトの標準取付位置
約44cm	一番前側に合わせる
約47cm	前側より5凹後ろの位置に合わせる

凹凸面が下側
固定板
FRONTを便器手前側

②便器にベースプレートを仮固定する
●ベースプレートが動かなくなるまで、ボルトを締めてください。

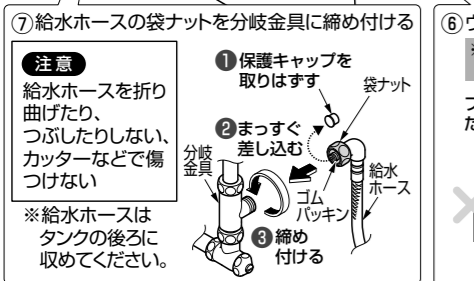
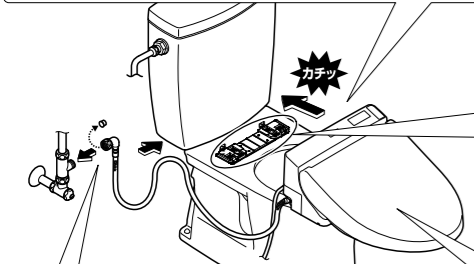
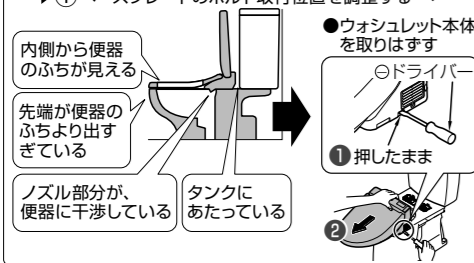
ドライバー

取付方法

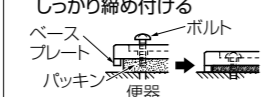
3 ウォシュレット本体の取り付け (つづき)

③ ウォシュレット本体を取り付け、以下の確認を行う

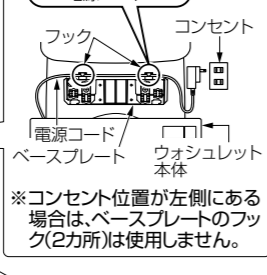
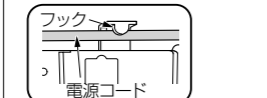
※ 次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整してください。
→ ① ベースプレートのボルト取付位置を調整するへ



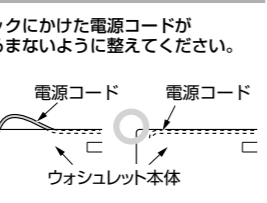
④ 回らなくなるまで、ボルトをしっかりと締め付ける



⑤ ベースプレートのフック(2カ所)に電源コードをかける (コンセント位置が右側にある場合のみ)



⑥ ウォシュレット本体を取り付ける
※ 手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。



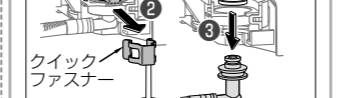
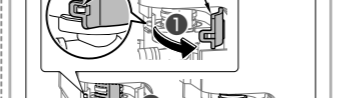
取り付けた状態でウォシュレット本体が着脱できないときは、適切な長さのホースをご購入ください。

(表紙「給水ホースの長さが不足の場合」参照)

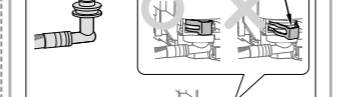
長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



① 給水ホースをはずす
ツメをはずす
カバー



② 長さ違いの給水ホースを取り付ける
※ すき間なく、奥まで差し込む



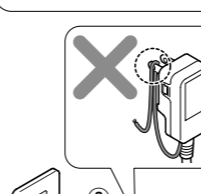
③ ツメにはめる



電源プラグ(アース線)の接続と確認

お願い

ノズル伸出口に貼ってあるテープをはがしてください。



② アース線



3Pプラグの場合
電源プラグ
アース線

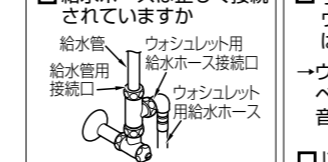
ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

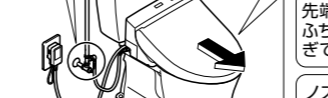
● 試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグが、コンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

1 ウォシュレット本体の確認

□ 給水ホースは正しく接続されていますか

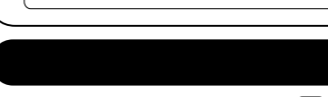


□ 手前に引っ張ったとき、ウォシュレット本体がはずれませんか
→ ウォシュレット本体を、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで押し込む



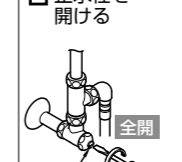
□ 以下に当てはまりませんか
内側から便器のふちが見える
先端が便器のふちより出すぎている
ノズル部分が、便器に干渉している
タンクにあたっている

□ 同梱部品を使用していますか
※ 従来のものと形状が異なるため、動作不良の原因になります。
※ 従来のものとシール方法が異なるため、水漏れの原因になります。

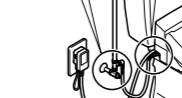


2 機能の確認

□ 止水栓を開ける

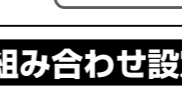


□ 水漏れチェック
→ 水漏れする場合は、同梱部品を使用していますか
バックキ (施工タイプにより使用する枚数が異なります。)
※ 新しいものを使用しないと、水漏れの原因になります。



□ 止水栓を全開

□ 便器洗浄しますか
リモコン便器洗浄付の場合
ウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書に従い、試運転を行う



□ 運転ランプが点灯していますか

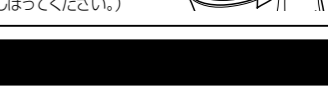


□ ノズルから洗浄水が出ますか
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分かかります。)

② 「おしり」ボタンを押す (水は紙コップなどで受けてください。)

③ 「止」を押す
※ 作動しない場合
組み合わせ設定 参照

【作動の確認】
① 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる



組み合わせ設定

試運転 2 機能の確認 でリモコンのボタンを押して作動しなかった場合のみ、「組み合わせ設定」を行ってください。

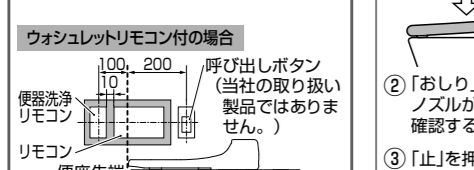
- 設定は1台ずつ行ってください。
- 一度電源プラグを抜き、再度差し込む
- 便座の右側を手で10秒以内に10回押す → <設定モード>に入る
- 「止」を5回押す(「ピッ」という電子音が鳴る)
 - ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。
- 「おしり」ボタンを押す(「ピッ」という電子音が鳴る)
 - ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。
- 「止」を押す → <設定完了>
- 設定モードに入ってから、約2分以内に設定を行ってください。手順③で電子音が鳴らない場合は、再度手順①からやり直してください。
- もう一度、試運転 2 機能の確認 を行ってください。

リモコンの取り付け

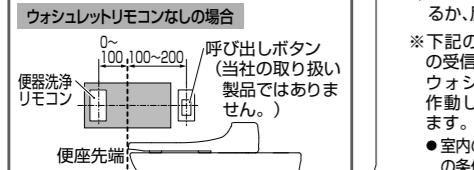
1 乾電池式の場合
ウォシュレットリモコンに乾電池を入れる

2 取付位置を決める

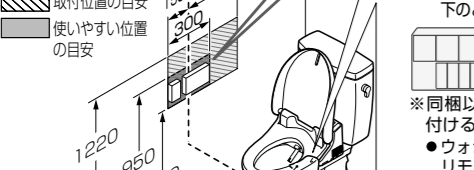
便器洗浄リモコン付の場合
便器洗浄リモコンの取り付けは、「便器洗浄リモコン取付説明書」をご確認ください。【公共トイレ操作系JIS(JIS S 0026)に対応する場合の取付位置】



ウォシュレットリモコン付の場合



ウォシュレットリモコンなしの場合



取付位置の目安
使いやすい位置の目安
1220
950
770
180
450
300
100
100-200
呼び出しボタン (当社の取り扱い製品ではありません。)

3 ハンガーの取り付け

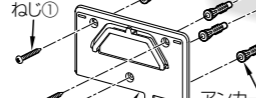
埋込AC100Vリモコンの場合

埋込AC100Vリモコンと同梱の施工説明書に従い、取り付けを行ってください。

場合
<下穴>
アンカープラグなし
Φ3×4

アンカープラグあり
Φ6×深さ33mm×4

① ハンガーを壁に取り付ける

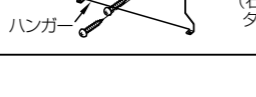


② リモコンをハンガーにセットする

場合
<下穴>
アンカープラグなし
Φ3×3

アンカープラグあり
Φ6×深さ33mm×3

① ハンガーを壁に取り付ける



便器洗浄リモコン付の場合

の場合、便器洗浄リモコンとウォシュレット本体との「組み合わせ設定」が必要です。便器洗浄リモコンと同梱の取付説明書に従い、設定してください。

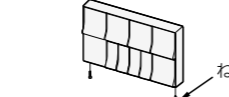
場合
② リモコンに固定部品を取り付けてセットする

場合
③ ハンガーとリモコンをねじ①で固定する



場合
② リモコンをハンガーにセットする

場合
③ ハンガーとリモコンをねじ②で固定する



場合
④ リモコン便器洗浄付の場合

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

設定方法はウォシュレット専用便器洗浄ユニット施工説明書をご覧ください。

給水フィルターの掃除 (試運転後)

1 止水栓を閉める



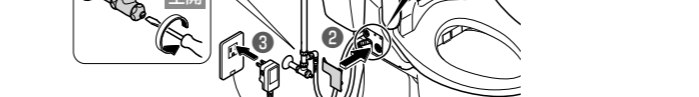
2 ノズルを伸ばさせる
※ 給水管内の圧抜きです。

1. 「ノズルそうじ」を押し、ノズルを伸ばさせる
2. もう一度「ノズルそうじ」を押してノズルを戻す

1. 「止」を5回押す(「ピッ」という電子音が鳴る)
● ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。

2. 「おしり」[音量一または位置前]「ピッ」の順に押し、ノズルを伸ばさせる(2の操作は20秒以内に行ってください。)

3. 「止」を押してノズルを戻す



2 水漏れチェック

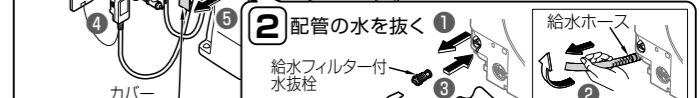
工事店様へ
● 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
● 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
● ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。
新築などお客様に製品を引き渡すまでの期間が長い場合は、止水栓を閉め、電源プラグを抜いてください。

製品引き渡しまでの期間が長い場合

1 配管の水を抜く



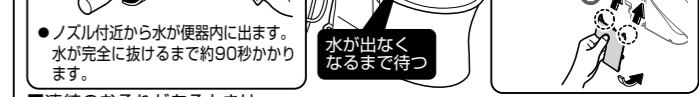
2 配管の水を抜く



3 水抜きプラグをはずす



4 水抜きプラグ、カバー(カバー付のみ)を取り付ける



● 凍結のおそれがあるときは、便器のたまり水に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、破棄処分するようにお客様にお伝えください。)

● 連立対応については、(URL) <http://search.toto.jp/contents/navi/>の「施工情報」→「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。
※ 機種により掲載されていない場合があります。

● 使いかたラベルは、取扱説明書の袋に入っています。お客様に確認を行い、貼り付けてください。